事例No.	988
公表年度	H30
団体の属性	一般市
団体名	茨城県高萩市

事例区分	行政改革

タグ	・公共施設活用 ・組織改革

事例種類	公的不動産の利活用

事例内容・タイトル

ドローン操縦士養成スクールとしての活用

出典

地方公共団体における行政改革の取組（平成31年3月29日公表）

★公的不動産の利活用（廃校施設の利活用）

○　少子化による児童数の減少により廃校となった学校施設を有効活用するため、民間事業者への貸与を実施。
⇒　維持管理費の削減や地元での雇用の創出などを実現。

〈ドローン操縦士養成スクールとしての活用：高萩市〉

（人口　約3万人）

【取組】

・廃校となった小・中学校施設の利活用について、**廃校後の持続可能な施設運営、管理の観点から民間活力の導入が重要**であるため、地域の活性化につながる学校施設の利活用事業とその担い手となる事業者を募集。
・地域住民からは、地域の絆、地域コミュニティの核である小中学校施設の廃校に根強い反対があった。**地域住民が心情的にも納得する廃校の利活用を行う必要があるため、継続的に意見交換を実施**した。
⇒　廃校施設を**ドローン操縦士養成スクールを運営する民間事業者に貸与**。校舎を座学会場に、体育館、運動場を屋内外の飛行場として利活用。

【効果】

・ドローン操縦士養成スクール開校に伴う**地元雇用の創出と交流人口の拡大**。
・民間事業者、県内大学及び高萩市が連携して交流事業を実施予定。
・地区の常設委員からは、「旧学校施設の活用方法として納得できる内容」との声をいただいた。
・**維持管理経費等の市負担の軽減**



〈宿泊施設としての活用　：　睦沢町〉

（人口　約0.7万人）

【取組】

・**施設の一部をリノベーションし、「泊まれる小学校」**とすることにより、
外から来た人と地域の人をつなぐ、コミュニティの起点とし、交流人口の増加を図る。
・**民間事業者へ施設の無償貸し付け**を行い、**民間事業者の負担により施設の改修を行い、宿泊施設として活用維持管理についても全て民間事業者の負担により運営**。
・パークむつざわ（総合運動公園）・道の駅・町内の農地など、町の地域



【効果】

・**維持管理費の削減**
・合宿施設の利用見込み（2,000泊増／年間）
・**雇用の創出（4～6名程度【繁忙期】）**
・合宿や大会誘致による利用者数（交流人口）の増加見込み（5,000人増／年）

周辺施設等との連携

